

苫小牧市長 岩倉博文 様

住民組織活動の推進に関する
要 望 書

苫小牧市町内会連合会

令和2年度 住民組織活動の推進に関する要望について

私たち町内会は、これまでの歴史や時代の中で、果たす役割や価値を見だし活動を続けてまいりました。

しかし、時代が大きく変化する中で、市民の生活スタイルや要望なども多様化し、それぞれの町内会が抱える課題解決への道のりは遠いものと感じています。

本会としても、変化する時代を認識しながら、地域にとって必要な組織の役割や在り方を見直す時期にあることから、会則や関係規程を全面的に改正し、新しい時代の連合組織として抱える課題の解決に向け取り組んでいます。

苫小牧市におきましても、様々な町内会活動や安全、安心な地域づくりにご理解をいただき、これまでも多くの要望に応えていただいているものと認識しています。

本要望に関しましては、新しい時代の町内会・自治会の連合組織として、果たす役割の大きさや責務を認識するとともに、町内会の根幹的な役割である「住民の意見」や「地域の声」をまとめ、要望させていただきます。

これらの要望につきましては、町内会を取り巻く難しい環境をご理解いただき、まちづくりにおける町内会の必要性や在り方など様々な観点からご検討頂きますようお願い申し上げます。

令和元年11月28日

苫小牧市長 岩倉博文 様

苫小牧市町内会連合会
会長 谷岡裕司

1 「苫小牧市環境美化活動事業助成金」の申請等の簡略化について

市には、住民組織活動助成金、高齢者支援事業助成金、地域青少年対策推進補助金に係る申請手続の一元化により、申請事務の軽減化を図っていただきました。

しかし、ごみステーションの管理など地域における環境美化活動の推進を目的とする「苫小牧市環境美化活動事業助成金」については、依然として、個別に申請手続きを行っています。

本助成金の積算根拠は、既にな一元化されている助成金等と同様であることから、本助成金の趣旨や目的の再検討を含め、三種類の助成金申請に含めていただくよう要望します。

2 事業所・企業に向けた町内会活動への理解と協力要請について

北海道町内会連合会の調査による全道における単位町内会の世帯加入率については、平成16年は75.2%、21年は71.5%、26年は68%と低下傾向にありことから、多くの自治体では、加入率の回復に向け様々な取り組みを行っています。

本会が、本年10月に視察訪問しました釧路市連合町内会では、加入促進活動の一つとして、各事業所・企業に『町内会活動を応援します宣言』をしていただき、成果を上げていました。

本市では、これまでも単位町内会ごとに各地域内の事業・企業に対し、町内会活動への理解と協力を要請しており、また、市におきましても、様々な場面で事業所・企業に協力を要請していただいておりますが、

さらなる町内活動の推進に向けて、次の事項について要望します。

- (1) 単位町内会及び本会との共同による協力要請活動への支援
- (2) 苫小牧商工会議所、北海道中小企業同友会苫小牧支部、北海道宅地建物取引業苫小牧支部等に対する、会員事業所の理解と協力の

要請

(3) 事業の実施における協力要請及び単位町内会への情報提供。

3 公共施設の整備と町内会活動の拠点施設の在り方について

本要望に関しましては、これまでも要望してまいりましたが、町内会館や公共施設の価値観が向上し、新しい時代の町内会活動や町内会館の在り方を目指す取組の一つとして改めて要望させていただきます。

公共施設の老朽化による新設や大規模改修等に際し、人口構成の変化や利活用の多様化などに留意するとともに、町内会活動の拠点施設としての活用の観点から、次のとおり要望します。

- (1) 公共施設の整備・改築計画・検討状況の概要や考え方について、ブロック別意見交換会における説明や意見交換の実施
- (2) 今後における各種公共施設の整備計画において、地域コミュニティー（地域活動）が主役となる「新たな公共施設」の在り方等の検討

4 町内会の運営や活動について、課題解決に向けた継続的な検討会等の設置について

これまで、行政内部に設置される各種「審議会」をはじめ、「協議会」、「実行委員会」には町内会役員が委員として参画しています。

しかし、私たちにとって一番大切な町内会運営や活動に関して、市と町内会が一つのテーブルについて、継続的に研究、協議、検討する場面がありませんでした。

これまでの要望事項なども含め、新しい時代の町内会活動の在り方など、課題解決に向け、有識者など第三者を交えた、継続的な検討会等の設置について要望します。